

第3学年総合的な学習指導案

校内研究主題：意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成
～書く力を育てる指導を中心にして～

中学年の目指す児童像

「自分の思いや考えをまとめて書くことができる子」

1 単元名「矢川たんけん」

2 単元の目標

<知識・技能>

- 矢川の自然環境に目を向け、生き物や生き物を守る取組が分かる。
- 理科や社会科等の学習を生かして学習問題を設定し、調べたり考えたりすることができる。

<思考・判断・表現>

- 学習のめあて、学習の計画や準備などの見通しを持ち、進んで考えたり、表現したりする。
- 矢川の自然や生き物の様子と、矢川の自然環境を守る取組などを関連づけて考え、矢川の自然を守るために自分たちができることなどを考える。

<主体的に学習に取り組む態度>

- 友達や保護者との関わりを通して、協力して活動したり、調べたりする。
- 進んで学習をしたり、学んだことを学習や学校生活に生かそうとしたりする。

3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
・図鑑やインターネットを用いて自ら進んで調べて、調べたことや考えたことをまとめることができる。	・見つけた生き物や植物について図鑑を使うなど、目的に応じた方法に必要な事柄を調べることができる。	・図鑑やインターネットを用いて収集した情報を整理し、相手に伝えようとしている。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) 単元について

本単元は、市内を流れる矢川やママ下湧水、府中用水などでの体験活動を通して、それぞれの課題を発見し、その課題を解決するために調査をする。そして、調べた内容を友達同士で交流することで、新たな課題を見出し、調査活動を進めていく学習を設定している。調べたことを分かりやすく友達に伝えられるように、国語科の既習事項を活用していきたい。

(2) 授業づくりの手だて

①「意欲を高める」ための手立て

- 矢川やママ下湧水公園、府中用水で実際に見たり、触れたりして体験したことから課題を見出すことで、「詳しく知りたい。」との気持ちを高められるようにする。
- 調べたり、体験したりしたことを友達同士で紹介し合う場を設定することで、「友達に伝えたい。」という意欲を高めたい。

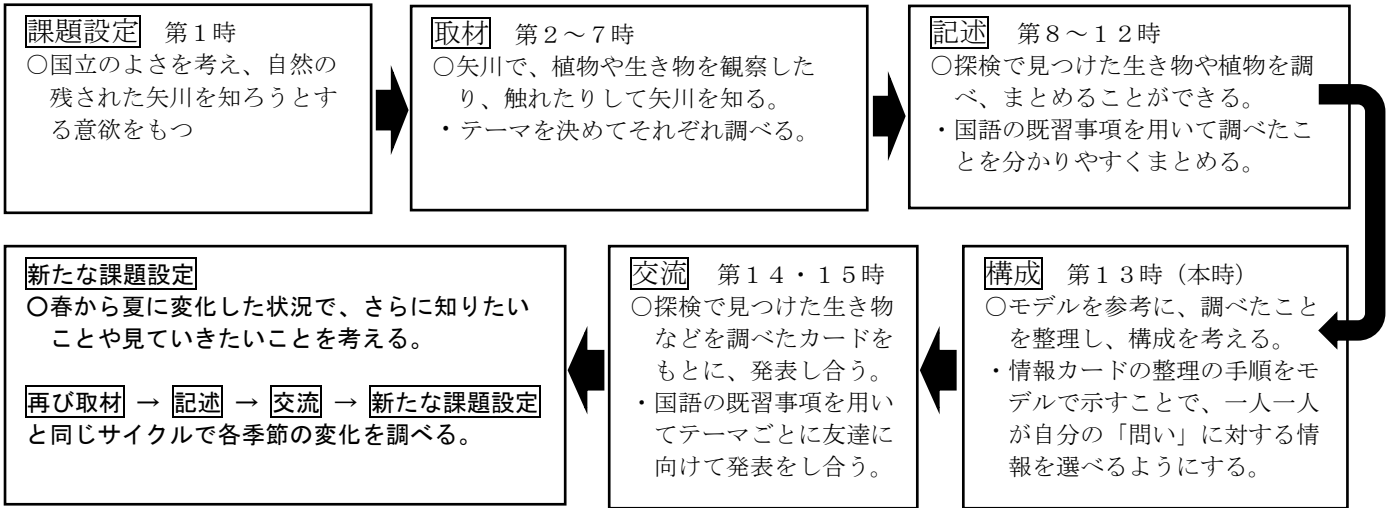
②「考えをもつ」ための手立て

- 第2学年の国語科や生活科の既習事項である「観察の仕方」(大きさや形、色を見る。いろいろな角度から見る。触る。数を数える。など)や「観察したことを記録する文章の書き方」(題名、日付、曜日、天気、観察の仕方、何が何をしているか、どのように動くのかが分かるように書く。気が付いたことや見付けたことを書くときに使う言葉を使う。など)を振り返り、体験したり調べたりしたことから考えをもてるようにする。

③「技能を生かす」ための手立て

- 国語科の既習事項を複合的に取り上げ、考えを表現する学習を繰り返すことで、学んだことを生かすとともに調べたことや自分の考えを伝える技能の定着を図りたい。

5 指導計画 (○学習活動 ※授業づくりの手だて)



6 本時について

- (1) 本時の目標 自分の興味関心をもったことについて、モデル文にそってまとめを書くことができる。
(2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○前時までの振り返りをする。	◇矢川で調べたことについて具体例を挙げて想起させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><めあて> 矢川たんけんて自分が注目したことをまとめよう。</p> </div>	
○発表原稿カードのまとめ方を確かめる。	◎モデル文を示すことで、友達に伝えるためのカードの書き方を一人一人が意識して取り組めるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでどうやって観察したのか、くわしく書く。 ・数や長さなどの特徴を具体的に表す。 ・順序を表す言葉を使う。 ・何かに例える表現を使う。 ・気が付いたことや分かったこと、もっと知りたいことを書く。 </div>	
○自分の調べた情報や、人から聞いたことを整理して発表原稿カードにまとめる。	◇矢川の資料をそれぞれの児童の手元に置いておけるように準備する。 ◇同じ生き物や植物、周りの様子を調べている児童同士が近くの席になるようにする。 ◇書き出すことが難しい児童については、友達のものを見せてもらったり、書き出しの文と一緒に書いたりする。
○同じグループの児童同士で書いたメモを見せ合い、情報を共有し合う。	◇共有した情報をもとに、もっと知りたいことを挙げ、次回の矢川探検に向けた意欲づけにする。
○学習の振り返りをする。	☆自分の考えを相手に伝えるために、モデル文に沿って、自分の考えを原稿カードに書くことができている。